

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(牛久シャトー内) ☎874-3121

戦争と鐘の供出(浄妙寺)

昭和10(1935)年ごろ



「昔のうしく」の写真をとくに昭和40年代までの写真・東部地区の写真(を)募集しています。



第二次世界大戦中の昭和16年に金
属類回収令という勅令が出され、人々
の日用品や銅像などの金属が国に回
収され、兵器の製造などに利用されま
した。昭和10年ごろに撮られたこの写
真の鐘も、この後戦争のため供出され
ました。戦争で失われる前の、人々に
親しまれている様子がうかがえる貴
重な写真です。

里山の樹木

最終回

問 都市計画課
☎内線2524

第65回

モミ



①

①市民の木No.47モミ
(平成19年6月27日)
②モミの球果
(平成19年11月24日)

この木は桂町の金剛院境内にあ
り、令和2年4月1日に「市民の木
No.47」に指定されたものです。幹
周3・65m、樹高25・0m令和元
年調査で、市内では唯一のモミの
巨木です。日本の特産種、マツ科の
仲間秋田県・岩手県から九州ま

で分布し、市内では社寺境内に残っ
ている希少木です。葉は線形で先端
が若木は鋭く2裂、その後やや丸
くなります。花は5月に咲き黄緑
色の雄花が目立ちます。球果は10
cmほどの円筒形で、枝に直立してつ
きます(画像②)。樹皮は灰褐色でう
ろこ鱗状に剥がれます。材は建築
用としては耐久性に劣るが、淡黄白
色で美しいので、柵や卒塔婆として
使われてきました。

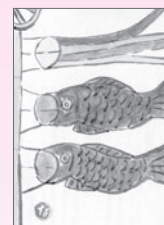
※市民の木とは長い年月をかけて成長
し、私たちの生活の一部として、その
地の歴史や文化を象徴している貴重な
樹木です。ぜひ市内を散策し、訪ねて
みてください(掲載日時37本指定)。

【資料提供】NPO法人うしく里山の会
(文章:羽賀正雄、写真:渡辺泰)

★次号から新コーナー「牛久の希少植物」
が始まります。

文芸さろん | 臍月 |

| | |
|-----------------|-------|
| 大空をうえに上へと鯉のぼれ | 三喜男 |
| 大志を抱けと願う親たち | 木村さん |
| 太陽がさして障子を明れば百香る | 堀さん |
| 季節みだれてうぐいすも鳴く | サッコ |
| 櫻舞い水面彩り花筵 | 和多田さん |
| 角ごとのひさしに帰へる雀かな | 高階さん |
| 葉桜の清清しくて古き寺 | あおたん |
| 片言の稚児が主役や子どもの日 | ひとしくん |
| 連休もステイホームでがんばろう | |
| 代掻きて白雲うかぶ鏡面や | |



◀イラスト/長沢さん

〈次回募集テーマは「夏」〉

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292 牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX:873-2512
E:kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp

【記載事項】作品、氏名、電話番号
匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)

※掲載作品は担当課にて審査の上、決定します。投稿い
ただいた作品が必ず掲載されるわけではありません。

『牛久市版レットデータブック追補版 牛久における絶滅のおそれのある野生生物』
販売中 ※お求めは都市計画課まで(1,350円)